

平成25年度
岡山県学力・学習状況調査

調査結果を活用した授業改善のポイント



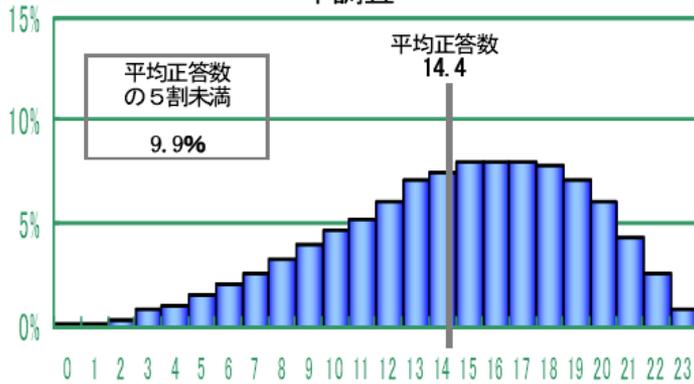
岡山県教育庁義務教育課

社 会



正答数度数分布

本調査



平均正答数
23問中14.4問

平均正答率
62.4%

設問ごとの概要

★：同一問題、◎：類似問題

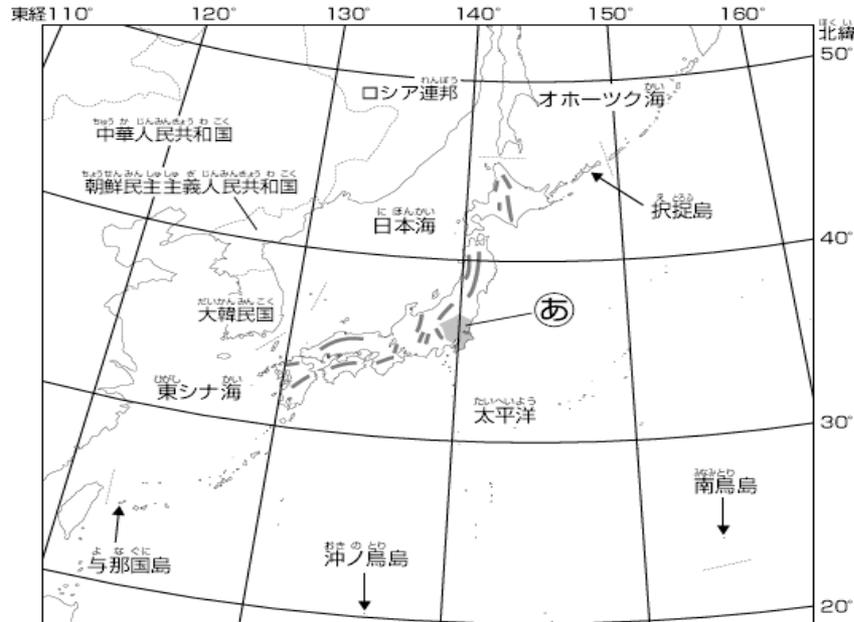
大問番号	中間番号	小問番号	出題のねらい	観点	正答率	無解答率	正答率グラフ
							0 20 40 60 80 100
1	(1)	①	地図記号(Y)を理解している。	知	69.1	11.3	◎ 34.0
		②	地図記号(㊦)を理解している。	知	64.5	7.4	
	(2)		地図から読み取れる内容を選ぶことができる。	技	53.6	2.0	
2	(3)		地図記号や方位、距離の知識を基に、実際の場面に即して道順を表すことができる。	技	64.2	5.7	
	(1)		日本の漁業別生産量の変化のグラフを読み取ることができる。	技	69.6	0.5	
	(2)		200海里水域を理解している。	知	68.6	2.0	
	(3)		栽培漁業の特長について、資料を基に養殖業と比較して考察し、説明することができる。	思	63.9	9.3	
3	(4)		日本の水産業がかかえる問題について、就労者の変化に着目して考察し、説明することができる。	思	89.2	6.8	
	(1)		日本の国土の位置や特徴を、地図を基に読み取ることができる。	技	70.1	1.0	◎ 82.8
	(2)		関東平野を理解している。	知	36.0	38.9	
	(3)		中国地方に属する県の名称と位置を理解している。	知	67.2	0.5	
4	(4)	記号	日本海側の気候の特徴を基に、その雨温図を選ぶことができる。	思	50.7	6.7	◎ 26.0
		理由	日本海側の雨温図の特徴を説明することができる。	思	13.9	17.9	◎ 10.0
4	(1)		テレビの情報を基にした行動について、問題の事例と類似する内容を選ぶことができる。	思	79.8	1.3	
	(2)		放送局の人の工夫や努力を理解している。	知	72.8	1.3	
	(3)		提示された調査方法の問題点を指摘し、その改善点を説明することができる。	思	60.3	9.7	
5	(1)	記号	平安時代の屋敷を理解している。	知	87.5	1.6	
		番号	平安時代の人々の生活の様子を理解している。	知	63.8	2.0	★ 67.2
	(2)		北条時宗が執権だったとき、九州北部に攻めてきた国(元)を理解している。	知	44.4	12.1	
6	(3)		源頼朝が武士を従えるようになった経緯について、資料を基に説明することができる。	思	17.6	20.5	
	(1)		福祉と関係の深い仕事を理解している。	知	83.8	3.3	
	(2)	①	消費税を理解している。	知	71.6	13.8	
		②	税金が使われている理由を考察し、説明することができる。	思	74.4	14.7	
					62.4	-	

結果の概要

成果と課題

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問においては、一定の定着状況が見られるものの、歴史や国土に関する知識について、確実な理解が図られていない。
- 県調査結果で課題の見られた、日本海側の都市の気候について適切にグラフを選び、その理由を説明する設問においては、改善が見られるものの、資料に基づき歴史的事象を説明することに課題が見られる。

日本の国土について、あとの問いに答えなさい。



注：——は山脈・山地を示している。

中学校との関連

中学校でも地理的分野(2)アにおいて国土の位置を取り上げるが、世界各地との位置関係など世界的視野での国土の位置を理解することをねらいとしている。

(1) 次の文は、上の地図から読み取れることを説明したものです。1から4までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 日本の南のはしは南鳥島である。
- 2 日本の南北の範囲は、北緯20度から北緯40度までである。
- 3 日本列島は弓なりの形をしていて、四つの大きな島と小さな島々からできている。
- 4 日本はユーラシア大陸の西に位置している。

(2) 上の地図のⒶで示した部分は、日本最大の平野です。この平野の名前を書きなさい。

出題のねらい	正答率
日本の国土の位置や特徴を、地図を基に読み取ることができる。	70.1
関東平野を理解している。	36.0

4

(1) 次の文は、上の地図から読み取れることを説明したものです。1から4までのの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きなさい。

反応率

- 15.1% 1 日本の南のはしは南鳥島である。
- 6.8% 2 日本の南北の範囲は、北緯 20 度から北緯 40 度までである。
- 70.1% 3 日本列島は弓なりの形をしていて、四つの大きな島と小さな島々からできている。
- 7.0% 4 日本はユーラシア大陸の西に位置している。

○×式の二者択一から正しいものを1つ選ぶ選択式に問い方が変わり、正答率が下がっている。3が正しいことは比較的容易に分かると考えられるが、地図を正しく読み取る技能が十分身に付いていないため他の選択肢に惑わされている。

類似問題 H18県調査

5 次の地図は、日本とそのまわりの様子を表したもので、地図上の四つの島（択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島）は、日本の国土のはしにあたります。この地図を見て、あとの問いに答えましょう。

(2) 地図から読みとれることは何ですか。正しいものには○を、あやまったものには×を書きましょう。

正答率

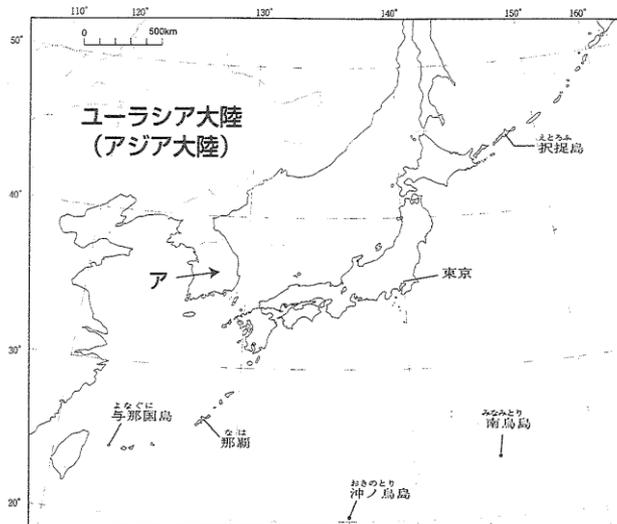
- 59.3% 1× 日本の南のはしは、南鳥島である。
- 68.2% 2× 日本の南北のはんいは、北緯 20 度から北緯 40 度までである。
- 82.8% 3○ 日本は弓なりの形をしていて、四つの大きな島と小さな島々からできている。
- 53.3% 4× 日本は、ユーラシア大陸の西に位置している。

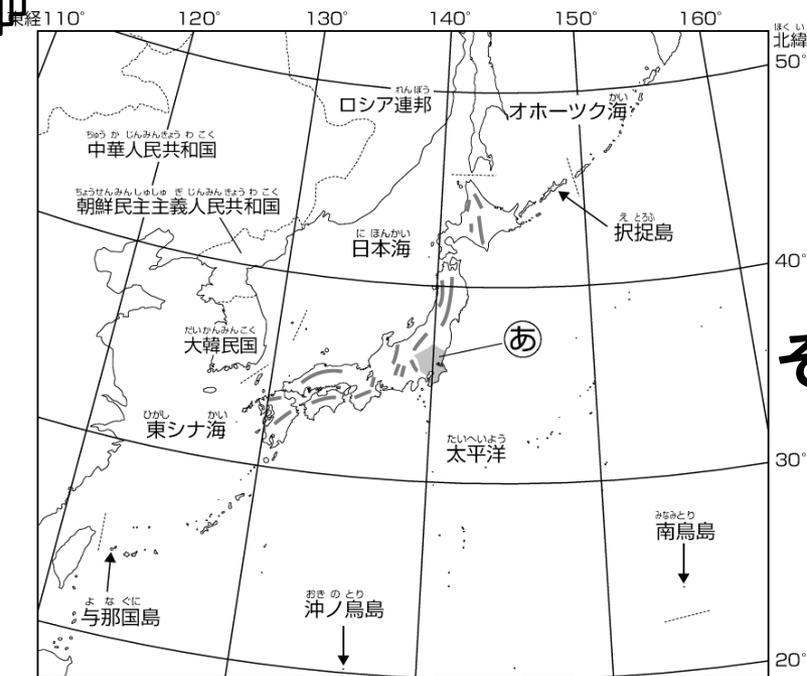
指導のポイント

我が国の位置と領土について様々な表し方をする経験をさせることが大切！

○「我が国は北半球にあり、ユーラシア大陸の東に位置している」

○「我が国は日本海と太平洋などに囲まれている。」等





注：——は山脈・山地を示している。

正答率 36.0%

関東平野

その他の解答率

無解答率

25.2%

38.9%

(2) 上の地図の㉠で示した部分は、日本最大の平野です。この平野の名前を書きなさい。

国土の地形に関する知識が定着していない！

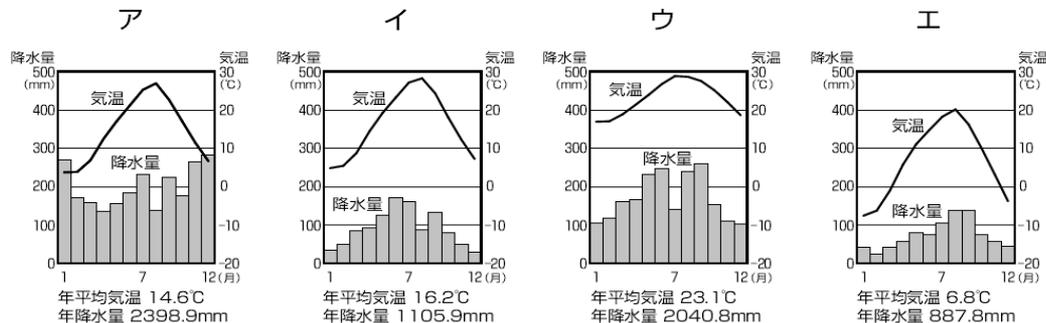
学習指導要領解説(社会編)

国土の地形や気候の概要については地図帳、立体模型を活用して調べ、白地図にまとめるなどの作業的な学習を取り入れることが考えられる。

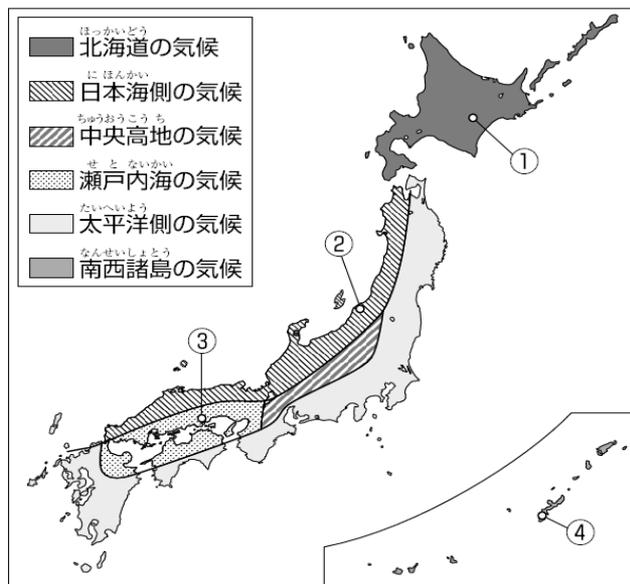
指導のポイント

作業的な学習を行った上で、反復学習や定期的な振り返りをするにより、確実な定着を！

(4) 次のアからエのグラフは、下の地図の①から④のいずれかの都市の、気温と降水量を示しています。②の都市のグラフをアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。また、そのグラフを選んだ理由を説明しなさい。



(「理科年表」2013年版)



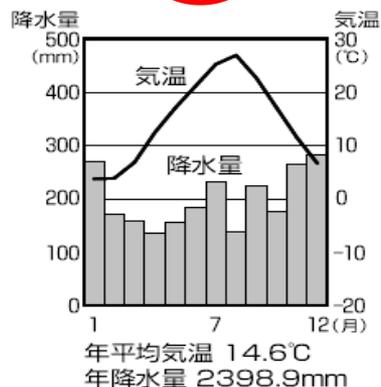
中学校との関連

雨温図は地理的分野の教科書において資料として多く掲載されている。「世界と比べた日本の地域的特色」の内容では、日本だけでなく世界の都市の雨温図も扱われている。小学校において雨温図をもとに地域の気候の特徴を説明できる力を養っておくが必要である。

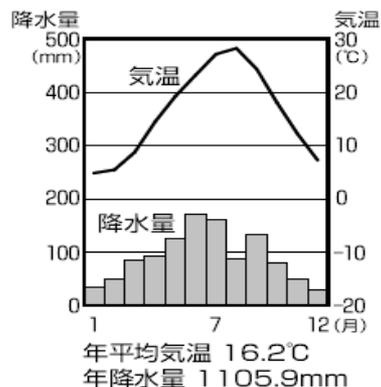
小問番号	出題のねらい	正答率
記号	日本海側の気候の特徴を基に、その雨温図を選ぶことができる。	50.7
理由	日本海側の雨温図の特徴を説明することができる。	13.9

日本海側の都市の雨温図を選ぶ

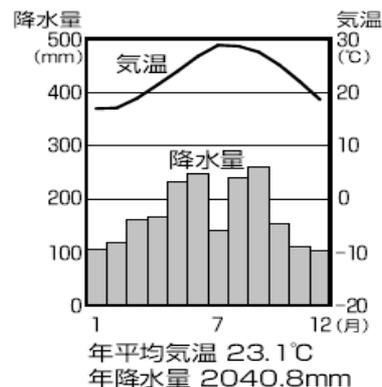
ア



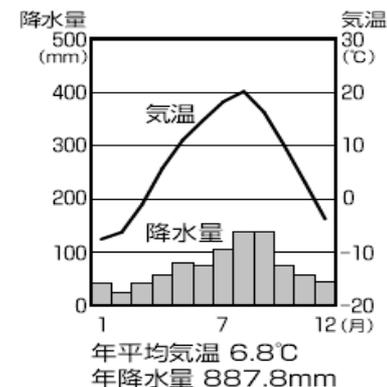
イ



ウ



エ



〔理科年表〕2013年版

H23
26.0%

地図中の金沢市の気候を示したグラフを選びなさい。

指導のポイント

- ①まず国土の南と北、太平洋側と日本海側の気候の特徴を理解させる。
 - ②事例地を取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を調べる。
- ※人々の生活と気候の特徴を関連させ、定着を図ることが大切！

H25
50.7%

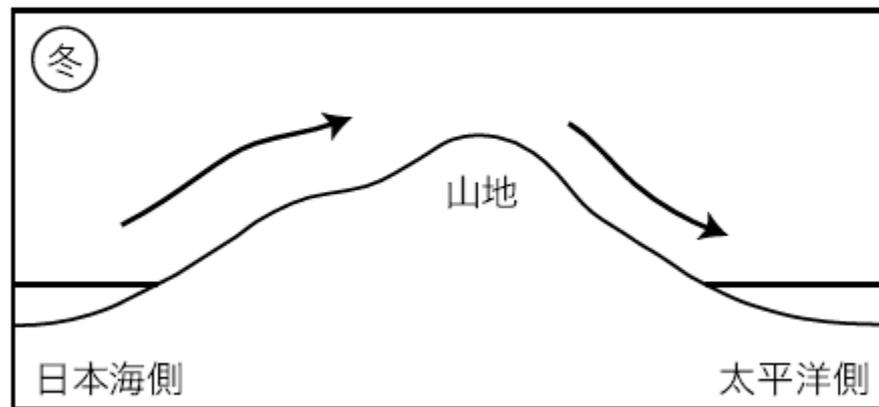
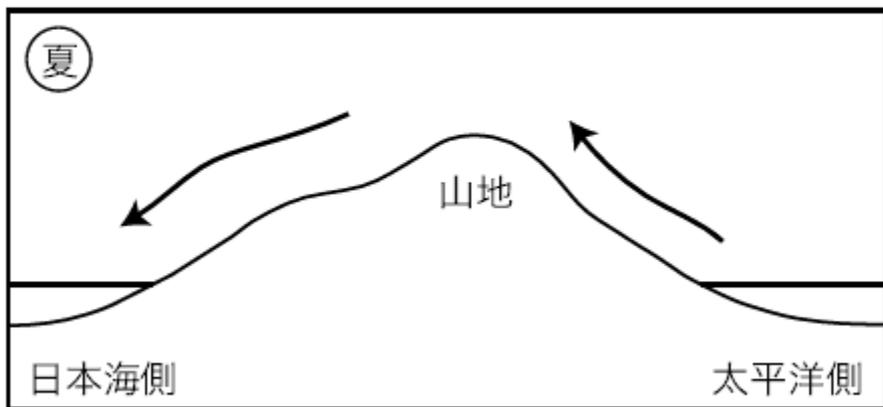
グラフに対応した都市を限定した問い方になっている。

アからエのグラフは、地図の①から④いずれかの都市の気温と降水量を示している。②の都市のグラフを選びなさい。

類似問題 H23県調査

後の資料を参考に「降水量」と「季節風」の2つの語句を使って説明しなさい。

資料 季節による季節風の風向きのちがい

H23
10.0%H25
13.9%

○雨温図の正答率が50.7%である。
○2つの語句を使うという条件がない。



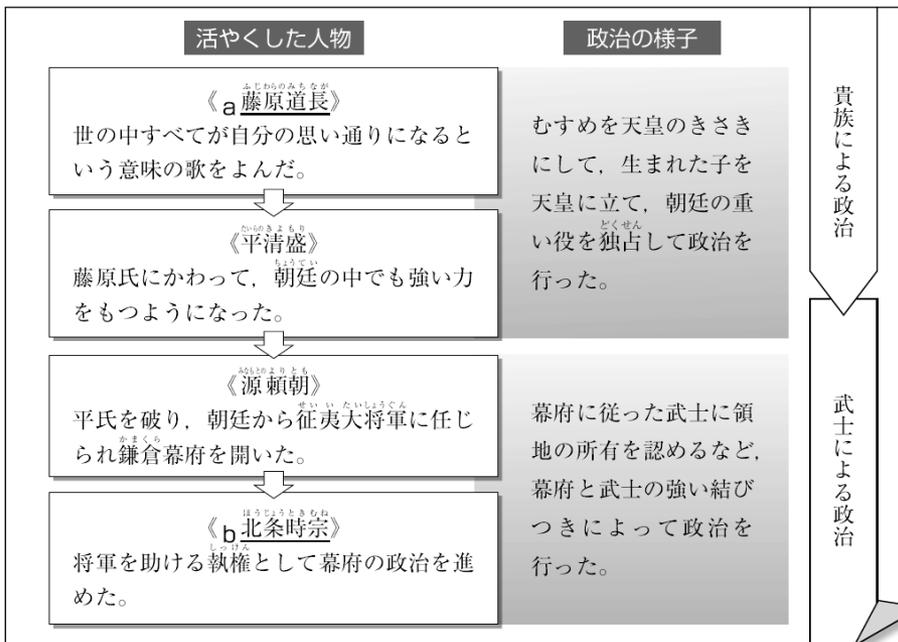
正答率はさほど上昇していない。

日本海側の気候の特徴を理解できていない

グラフの特徴を読み取り、それを根拠に説明できない

- 5 次の資料1, 2は、貴族による政治から武士による政治への移り変わりについて、さえこさんがまとめたものです。あとの問いに答えなさい。

資料1



資料2

平清盛の年表

年号	主なできごと
1118	生まれる
1156	後白河天皇の武士として戦う(保元の乱)
A 1159	源頼朝の父を破り源氏に勝つ(平治の乱)
1167	太政大臣になる
1172	むすめを天皇のきさきにする このころ平氏一族が朝廷の役職の多くを占める
1179	このころ中国との貿易を進める
1180	孫が天皇になる
1181	亡くなる

源頼朝の年表

年号	主なできごと
1147	生まれる
1159	平氏との戦いに敗れる(平治の乱)
1160	伊豆へ流される
1180	平氏をたおすために源頼朝のもとにたくさんの武士が集まる
1185	壇ノ浦で平氏をほろぼす守護・地頭を置く
1188	源義経をうつことを命じる
1192	征夷大將軍になる
1199	亡くなる

- (3) 平氏の全盛期(資料2のA)にもかかわらず、たくさんの武士が平氏をたおすために源頼朝のもとに集まったのはなぜですか。資料1や資料2をもとにして、その理由を説明しなさい。

出題のねらい	正答率
源頼朝が武士に従えるようになった経緯について、資料を基に説明することができる。	17.6

「平氏一族が権力を握っていたことに不満をもっていた武士が多かった」旨が記述できている。	◎	7.1%
「平氏の政治に不満をもっていたから」「ご恩(ほうび)があると考えたから」「頼朝のために戦えば、自分の領地の所有を認めてもらえると考えたから」	○	10.5%
上記以外の解答 「ご恩と奉公の関係があったから。」など資料をもとにしていないものを含む	×	61.9%
無解答	×	20.5%

資料に基づいた説明になっていない

何を書けばよいのか分からない

「理由」を記述する際には、「AだからBとなる」のように、Aという理由及びBという結論を明確にして考え、それを記述することが求められる。その際、理由の根拠を資料の中から取り出すことが必要である。

指導のポイント

①児童生徒が考えを発表する場面で、必ず根拠を問うようにします。根拠を問いかけることによって説明に必要な事実は何かを児童生徒が意識できるようになります。

★「なぜそう考えたの？」

★「どこからそのことが分かるの？」

②毎時間ノートに自分の考えを簡潔に書かせる活動を位置づけ、習慣化を図ります。

③ペアやグループで説明を聞き合う活動を取り入れます。その際、異なる意見が出された時には、どのような根拠に基づいているのか考えさせるようにします。

④児童生徒の発達の段階に応じて、話形など説明のための「モデル」を提示します。

⑤児童生徒の発言の内容について称賛するだけでなく、見方や考え方の優れている点を指摘し全体に広げるようにします。